

2017年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく	代表者	理事長 飯塚 陵子	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた町でその人らしく穏やかに暮らすことを支えることを理念に柔軟なプランを提供している。ターミナルケアへの対応もしており、家族支援も含め穏やかに最期を迎えられる取り組みをしている。自治会の行事参加・買い物や外食など地域連携を強化している。毎月のおたより発行や地域交流会、地場野菜の提供など地域への発信をしている。訪問体制も強化しており、きめ細かなサポートで在宅生活を支えている。外食や買い物など外出の機会を多く設けており、思い出作りの取り組みに力をいれている。
事業所名	わくわくの里	管理者	飯塚 陵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	0人	1人	1人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	計画的に対応することは昨年同様だが、全職員の取り組みはほぼ達成できているので引き続き取り組みをしていく。	自己評価への取り組みが3回目となり職員の抵抗はなくなった。全職員が評価項目の説明を読みながら真剣に取り組む様子がみられた。	業務も年数を重ねると慣れの中で振り返りの機会が減ってくるので、自己評価を行うことの意義は大きい。ただ、自己評価に費やす時間の確保は必要だ。	全職員が取り組めるよう計画的に進めること。期間内でそれぞれが取り組みの時間を確保できるよう調整していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	昼食体験会は、随時発信していきより多くの方に来所を促していく。運営推進会議の開催場所を半分は事業所とする。	運営推進会議の開催場所を事業所にしたことで事業所内の様子を見ていただく機会が増えた。掲示物や壁面飾りなどの好評を頂けた。	今年度の事業所開催はとても良かったと思う。利用者さんの表情や職員の様子をみることで雰囲気もよくわかった。	運営推進会議において事業所内のしつらえ、環境における取り組みを報告し実際に確認をしていただく。
C. 事業所と地域のかかわり	相談事に柔軟に対応できる体制を整えていく。事業所内に入りやすいよう掲示での案内を示していく。職員の接遇研修の強化を図る。	回覧板以外にサロンへのわくわくの里だより配布により地域からの行事への参加が増えてきた。元利用者の家族が気軽に立ち寄り相談ができる場としての機能もできている。	サロンへの参加はとても良い。更により近くで開催している『おさそい会』へ参加すると良いと思う。回覧板は以外と見ない人が多いので直接出向くことが効果的だ。	近隣の『サロン』『おさそい会』など人の集まる場へ積極的に出向いていくようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	利用者を取り巻く地域について知ることが不可欠であり、地域とつながりながら暮らすことを考えていく。	民生委員さんとの顔の見える関係を築きはじめきており、情報共有することで安心感が生まれた。訪問件数が増え、自宅周辺の情報もより捉えやすくなってきている。	あんしんカードの普及と定着は今後必要だ。公的サービスを利用していない人の把握は大変だが、せめて利用者さんの情報はきちんと取りまとめていってほしい。地域のことをよく把握している駐在と連携すると良い。	利用者の自宅に『あんしんカード』をおいていただき、最新の情報を更新していく。駐在担当者と顔なじみの関係を築いていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>近隣・元利用者家族・老人会・近隣事業者等、多方面の関係者に参加をしていただき意見交換ができるよう計画していく。</p>	<p>新規委員会メンバーが加わったことで更に多くの意見交換ができ運営に反映することができた。実施場所も事業所に変更したことで手狭ではあるが、施設の様子をより知っていただく機会となった。</p>	<p>メンバーが増えたことで活発に意見がでて良いと思う。自治会の会長・副会長が交代になるため新しい役員さんにも声はかけていく。他施設の職員さんの参加もお互いにいい情報共有ができよいことだ。</p>	<p>運営推進会議に他の職員も参加できる体制を整えていき、より多くの意見が反映できるしくみを構築していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>災害時の自助・公助・近隣との連携など具体的な話し合いの場を持ち、訓練への参加人数も増やしていく。</p>	<p>洪水計画の作成もでき災害時のマニュアルは満足いく結果となったが、近隣住民参加の訓練を充実していくことが今後の課題である。</p>	<p>近隣とのかかわりを強化していくことは重要だ。自治会の定例会への参加も地域の人と顔なじみになれると思う。</p>	<p>30年度から自治会の定例会にできる範囲で参加させてもらうようにする。避難訓練の充実をしていく。</p>